第 2016-36 号

恵みと真理のニュース

2016 年 9 月の一次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

神様は旦那が病魔と闘って勝つようにしてくださり、旦那の魂を救ってくださって真の新たな命をくださいました

私の旦那は公務員として長い間役員で勤務しながら退職して後は小さい専門職の会社で勤務し新しく第二の人生を暮らしていました。旦那は真面目で毎日運動して健康管理をしていたので健康には心配しませんでした。

旦那は２０１２年６月急に寒気を覚えていました。はじめは団純な疲れによる風邪だと思って休みました。しかし、治らなくて物体が二つに見えるなど体の調子がもっと悪くなりました。結局、大学病院の応急室に運ばれて長い時間かけて検査を受けました。結果はミラー・フィッシャー症候群という珍しい病気の診断を受けました。この病気は１０万人の中で一人がかける病気で日常生活が不可能な病気です。応急室から集中治療室で移動した旦那は全身麻痺によって目の前の物も見えなくて話もできなくて意思疎通が不可能な状態になりました。

旦那は一週間程度そのように 集中治療室にいまたが、一般病室に移されました。しかし、また、首まで麻痺され仕方なく胃にホースを連結して食べ物を摂取することになりました。どころが、この過程で食べ物が、肺に間違って流れて入ってしまって吸引性肺炎の病気になりました。旦那はまた集中治療室に移され生死をさまような状況でした。状態がもっと悪化され息をするすら大変でした。旦那と医師と家族は紙に文字を書いて話しました。旦那の体で動くのは親指と足だけでした。骨だけ残っている状態になった旦那は結局残っている人生を整理するかのように私に知り合いの人を呼んでてほしいとお願いしました。そのような旦那の姿を見て私も大きく落胆しました。見舞いに来て旦那をみて帰った知人も周りの人々に私の旦那が回復する可能性がないように見えるから早く会いに行くようにと話をするほどで旦那の状態が危なかったです。生死の境をさまよっている状況で病院では"薬もないし何の方法がない”と言われました。とうとう首に穴を開けて呼吸を助ける気道にホースを入れましょうと言われました。

こんな状況で私は当会長牧師から何回も祈りを受けました。そのたびに牧師が慰めと希望の話をしてくださり旦那の治療と回復のため切に祈ってくださいました。そして、大教区長と教区長が病院によくいらっしゃって一つの心で旦那のため祈ってくださいました。何日後、夜回診をする医師は旦那の状態がもっと悪化されないようです。 気道にホースを入れるのは当分の間はしなくて見てみましょうとしました。その話を聞く瞬間私は多くの方が祈りを神様が聞いてくださり、答えてくださるのを思いました。治療に対する希望を持って全身全力を尽くして神様に祈りました。その後、旦那の病気は最悪状態から回復して今は健康になりました。神様が治療してくださいました。もっと神様に感謝することはこの過程を通して主を受け入れ主日ことに熱心を持って教会に行って家でも神様の御言葉を黙想して福ある信仰生活をしています。ハレルヤ！私も生きておられる神様にたいするつよい信仰を持つようになりました。

旦那を治療してくださり旦那の魂を救ってくださる神様の恵みと愛に感謝します。これからどんな状況でも私の夫婦は相変わらず主だけを見上げて愛して主が喜ぶ人生を生きる念を押します。

［信仰コラム］　聖 徒 達 の 宝

"そして、主は先に約束されたように、きょう、あなたを自分の宝の民とされること、また、あなたがそのすべての命令を守るべきことを明言された。...”（申命記 26:18～19）

とても価値があり貴重なことを指して比喩的 ' 宝 ' といいます。聖書には ' 宝 ' だと翻訳された用語が使われた節が様々なところにあります。その中で聖徒達を指称する名前と聖徒達が所有する事事に関して調べてみましょう。

第一、聖徒達は宝の民です。

神様の選択を受けた者が神様のお言葉に従うと神様が御自分の宝の民として認定してくださり、全ての民族より優れるようになさい称賛と名誉、光栄を得るようにしてくださいます。（申命記 26:18、19）イエス様が流れた血はイエス様を信じる全ての人が罪の許しを得るようにして正しくなるようにしてくれます。その血の価値と能力、貴重さはこの世の何物も比べ物になりません。イエス様を信じる人はイエス様が私達の罪を贖うために流れた血潮で買ったことになったので神様が宝の民として認定してくださいます。

第二、聖徒達は宝の知識を持ちました。

とこしえの命を得る知識は人が研究と努力をして得られることではありません。神様が予言者を通じて啓示なさい、イエスキリストがお越しになったことで明らかに現わせました。イエスキリストが贖いを完遂なさい、聖霊降臨を通じてこの世に福音が伝えられています。このような福音以外には魂が良くなる知識を得られません。とこしえの命に関する消息、救いの消息より貴重な知識はありません。このような宝の知識を聞いて、悟って、信じるようになることは神様の選択による恵みです。サタンは人々に福音の光彩が照らされないようにするため様々な詭計で妨げています。しかし、神様の選択を受けた人々は福音を聞いて、悟って、信じるようになります。神様は先に信じた人々に福音を述べ伝える使命を任せました。これは称賛と賞を与えるためのことであります。福音を述べ伝える人は誠に貴重な知識を人々に述べ伝えることをするのです。

第三、聖徒達は宝の信仰を持ちました。

聖書には " 信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますことと、ご自分を求める者に報いて下さることとを、必ず信じるはずだからである。" と記録されています。イエス様が死にかかる会堂司の娘を生かしてくださる時、12 年間も長血を患い辛うじて命を持ちこたえていた女性がイエス様の服を触って癒しを得た時に言われたお言葉の核心単語は信仰でありました。" 恐れることはない。ただ信じなさい。娘は助かるのだ " " 娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい " と言われました。人が持つ信仰の中で最も貴重な信仰は聖書に啓示された神様に向いた信仰であります。父親である神様とイエスキリストそして、聖霊様に対する信仰であります。

第四、聖徒達は宝の約束を持ちました。

聖書に記録されたお言葉は神様が与えてくださった契約あるいは言約です。なので聖書を信じる人は貴重で誠に大きい約束を受けた人です。約束の中で圧巻は罪の許しとイエス様の再臨そして、聖徒の復活と新たなエルサレムで永遠に主と共に生きるようになるという約束です。神様は全能で永遠で正しくて善良で真実でおられます。従って、この約束を信じて生きる人は決して恥をかきません。神様がこのように貴重で誠に大きい約束を聖徒に与えてくださりまた、これを想起するようになさった理由があります。この世に属した物に対する貪慾を持たないようにして神様の気性に加わる者にしようとするのです。神様の気性の中で私達が加わることができるのは公義と愛、真実と善良、忍耐のようなことです。

イエスキリストを信じる人より幸いな人はいません。イエスキリストを信じる人は神様が認める宝の民です。宝の知識を持ち、宝の信仰を持って、貴重で誠に大きい約束を持ちました。皆さんはこのような事実によって楽しみながら幸福感を持って生きてください。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム ‘緑の牧場、清い川’ 本の語り中」

信 仰 の 出 処

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

人は誰も信仰を持って適用する資質を持って生まれます。 ところで信仰を適用する範囲は同じではないです。 その人が持った信仰の性格も一定ではないです。 その人がどんな性格の信仰を持っているのかということと信仰をどこに適用しているかと言うことはその人の生と運命に決定的に重大な影響を及ぼします。 これに関して私たちが正し知識を得ようとすれば必ず聖書を読まなければなりません。 聖書は信仰に関して人が必ず分からなければならない確かで貴重な知識を提供しています。

今日の本文には “そして、イエスの名が、それを信じる信仰のゆえに、あなたがたのいま見て知っているこの人を、強くしたのであり、イエスによる信仰が、彼をあなたがた一同の前で、このとおり完全にいやしたのである。” と言いました。 このお話はペテロ使徒がエルサレム聖殿の外に庭の東の方にあるソロモンの廊に雲集した群衆に説教したのです。 こんな説教をするようになった事件の前末はこのようです。
イエス様の弟子ペテロとヨハネが祈ろうと聖殿に入るところに聖殿の門の前で物乞いするいざりを見ました。 ペテロが彼に向けて “私たちを見ろ。” 告げた後 “ペテロが言った、「金銀はわたしには無い。しかし、わたしにあるものをあげよう。ナザレ人イエス・キリストの名によって歩きなさい」。” してからその右手を取って起こしたら即時に起きました。
彼らがソロモンの廊に至ると多くの人々が寄り集まりました。 集まって来た群衆を向けてペテロが口を開きました。 “ペテロはこれを見て、人々にむかって言った、「イスラエルの人たちよ、なぜこの事を不思議に思うのか。また、わたしたちが自分の力や信心で、あの人を歩かせたかのように、なぜわたしたちを見つめているのか。
アブラハム、イサク、ヤコブの神、わたしたちの先祖の神は、その僕イエスに栄光を賜わったのであるが、あなたがたは、このイエスを引き渡し、ピラトがゆるすことに決めていたのに、それを彼の面前で拒んだ。 あなたがたは、この聖なる正しいかたを拒んで、人殺しの男をゆるすように要求し、いのちの君を殺してしまった。しかし、神はこのイエスを死人の中から、よみがえらせた。わたしたちは、その事の証人である。”(使徒行伝, 3:12～15)と言いました。
そしてからは “そして、イエスの名が、それを信じる信仰のゆえに、あなたがたのいま見て知っているこの人を、強くしたのであり、イエスによる信仰が、彼をあなたがた一同の前で、このとおり完全にいやしたのである。”(使徒行伝,3:16)で力説しました。
ペテロはいざりが奇跡的ないやしを受けるようになった要点の三種類を言いました。 第一要点は “その名前を信じて”です。 二番目要点は、“その名前がこの人をいやしにさせたのだ”です。 三番目要点は、“イエスキリストから生まれた信仰がいやしになったと”です。 ‘その名前’は ‘イエスキリスト’です。 ‘その信仰’と言うのは ‘イエスキリストからなった信仰’と説明しています。 信仰の根拠と対象がイエスキリストです。

新約聖書 ヘブル人への手紙,12 章 2 節には “信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ、走ろうではないか。彼は、自分の前におかれている喜びのゆえに、恥をもいとわないで十字架を忍び、神の御座の右に座するに至ったのである。”と記録されました。
イエスキリストは信仰の根源になってイエスキリストによる信仰を持った人にその信仰が実際化されさせます。

イエスキリストによる信仰は非常に多様です。

第一、あがないの信仰です。
すべての人は神様の前で罪人です。 人間は罪責感を解決して見ようとあらゆる方法を試みているが効果ある方法と言うのは一つもないです。
このように憐れな人生のために神様が救世主イエス様を送ってくださって私たち罪をあがないさせてくださったのです。 そして罪人に要求することは信じなさいというのしかないです。
第二、永生の信仰です。
この世の中に生きる間に永生を得ることができなければ肉体の死が二番目の死亡に行く関門になります。 肉体の死は初めて死亡です。 最後の審判を受けて火の池に投げられることが二番目の死亡です。 永生を得た人々はイエス様の再臨の前に死んでもイエス様の再臨の時に生きていても二番目の死亡がないです。 永生の信仰はただイエスキリストによります。 イエス様に根拠を置いたのではない永生の信仰はむなしいなったことです。
第三、神様の子になったという信仰です。
イエスキリストを信じれば私たちの魂が生まれかわる変化を受けるようになります。 生まれかわるのは血統でも肉情でも人の意でなるのではなくて神様から生まれるのです。ヨハネによる福音書, 1 章 12,13 節に “しかし、彼を受けいれた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである。それらの人は、血すじによらず、肉の欲によらず、また、人の欲にもよらず、ただ神によって生れたのである。” と言いました。 神様から生まれる神秘な生まれた人は神様の子になります。 そして神様を父と呼ぶようになります。
第四、 疾病の治癒の信仰です。
イエス様のあがない使役の中では私たちの弱さと疾病の治癒も含まれています。イエス様はこの世の中にいらっしゃる時に弱い者と病んだ者を数えきれなくいやししました。 このようなイエス様の治癒の使役に対して聖書はこんなに記録しました。 “夕暮になると、人々は悪霊につかれた者を大ぜい、みもとに連れてきたので、イエスはみ言葉をもって霊どもを追い出し、病人をことごとくおいやしになった。これは、預言者イザヤによって「彼は、わたしたちのわずらいを身に受け、わたしたちの病を負うた」と言われた言葉が成就するためである。”(マタイによる福音書, 8:16,17) 使徒ペテロは美門の前のいざりのいやされたことはイエス様の名前を信じる瞬間いやしの信仰ができた結果になったと力説しました。
五番目、世の中を勝つ信仰です。
この世の中には絶えず誘惑と逼迫と患難が迫って来ます。 しかし私たちは恐ろしがってはいけないです。 私たち先に立って世の中を勝ったイエスキリストが私たちにもこのすべてのものを勝つように手伝ってくれます。 “なぜなら、すべて神から生れた者は、世に勝つからである。そして、わたしたちの信仰こそ、世に勝たしめた勝利の力である。”(ヨハネの第一の手紙, 5:4) としました。
六番目、天国と復活に対する信仰です。
聖書には天国にあることとないことに対して明示されています。
天軍天使だけあって悪魔と悪霊はないです。 正義のある者だけいて罪人はいないです。 真実だけあって偽りはないです。 美しさだけあって醜いことはないです。 昼だけあって夜と闇はないです。 永生だけあって死亡はないです。 喜びだけあって哀痛と涙はないです。 富だけあって貧乏と欠乏はないです。 健康だけあって疾病はないです。 愛だけあって憎しみはないです。 この世の中で私たちがあうすべての悲しみと絶望を乗り越えさせる最大の所望は復活と天国に対する信仰から出るのです。
イエスキリストによる信仰は非常に多様です。 あがないの信仰、永生の信仰、神様の子になった信仰、いやしの信仰、世の中を勝つ信仰、復活と天国に対する信仰があります。

私たちにこんな信仰をくださるためにイエス様がどんな事をしたのかを私たちが分からなければなりません。

第一、イエス様の誕生です。 神様のイエスキリストが神様の父の約束したお御言葉を成すために童貞女の身に聖霊に孕胎されてから人でいらっしゃった事件です。 この事はとても驚くべきで不思議で私たちの理解を超越します。
イエス様の誕生は神様の愛と能力そして神様の信実するのを完全に現わしました。
第二、イエス様の死です。 罪が全然ない神様のイエスキリストが人間の罪を代わりに担当して十字架に釘付けられる事ができなくたまらなかったです。 これをあがないの死だと言います。 私たちが受けなければならない審判を代わりに受けたのです。
第三、イエス様の復活です。 死亡は罪によって来たのです。 だからイエス様は聖書に予言されたのみならず自分が何回も予告したとおり死んでから三日ぶりに復活しました。 そしてあがないが完遂されたことをあきらかに現わしました。
第四、イエス様の再臨です。 聖書にはイエス様の再臨をイエス様の誕生よりもっとたくさん予言しておきました。 イエスキリストが復活した後 40 日間に弟子に自分を現わしたように見えた後弟子が集まった中で天に昇りなさいました。 あの時急に白い服を着た二人が彼らのそばに立って言うのを “「ガリラヤの人たちよ、なぜ天を仰いで立っているのか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになるであろう」”(使徒行伝, 1:11) しました。 聖書の最も最後の章に記録されるのを “「見よ、わたしはすぐに来る。報いを携えてきて、それぞれのしわざに応じて報いよう。”(ヨハネの黙示録, 22:12) しました。 イエス様は聖徒を復活するようになさって世の中を審判なさろうとまたいらっしゃいます。

イエス様が童貞女の身に聖霊に孕胎されて誕生して、十字架に釘付けられあがないの死を死んで、死亡の権勢を勝って復活した事と将来私たちを連れにまたいらっしゃるという約束による信仰は世の中の何とも替えることができないのです。 “私はイエスキリストによるあがないの信仰、永生の信仰、神様の子になった信仰、いやしの信仰、世の中を勝つ信仰、復活と天国に対する信仰を持ちました。” と喜びで言ってください。 皆さん皆がイエスキリストによるこのような信仰が実際と現実になることを体験する幸せを享受してください。